



## 2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月14日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

四半期報告書提出予定日 2022年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	6,495	6.0	252	243.2	424	132.5	276	184.1
2021年2月期第3四半期	6,125	0.3	73	64.2	182	20.5	97	33.9

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 296百万円 (179.6%) 2021年2月期第3四半期 106百万円 ( 28.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	300.54	
2021年2月期第3四半期	105.78	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	4,944	2,146	42.8
2021年2月期	4,992	1,932	38.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 2,115百万円 2021年2月期 1,916百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		90.00	90.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	6.5	328	63.5	510	54.1	204	39.9	222.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	953,600 株	2021年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2022年2月期3Q	34,310 株	2021年2月期	34,310 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	919,290 株	2021年2月期3Q	919,290 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株の出現が確認されるなど、実体経済が平常を取り戻しつつある中、依然として先行き不透明な状況が続くと予想されています。

こうした状況のもと当社グループでは、フードサービス事業のモスバーガー事業の人材育成、リユース事業の九州エリア新規出店を支える体制づくりに取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、4月に業態変更のためフードサービス事業1店舗、5月に店舗移転のためリユース事業3店舗をそれぞれ閉店いたしました。6月にフードサービス事業1店舗、リユース事業2店舗を出店しております。また、6月に地方創生事業として温浴宿泊施設1施設の運営を開始いたしました。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業95店舗、フードサービス事業29店舗、地方創生事業10店舗、合計134店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,495,388千円（対前年同四半期比6.0%増）、営業利益252,597千円（同243.2%増）、経常利益424,978千円（同132.5%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は276,283千円（同184.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりです。

なお、当第3四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、従来「その他」としておりました報告セグメントの名称を「地方創生事業」に変更しております。

当変更は、報告セグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### (リユース事業)

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、ハードオフ本部・ブックオフ本部の経営理念を現場で行動に移すことができる人材の育成に取り組まれました。海外供給センターについては、前期は新型コロナウイルス感染症の影響で取り引きが減少しておりましたが、当期は回復基調にあります。

この結果、売上高4,579,461千円（対前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益（営業利益）555,054千円（同16.0%増）となりました。

#### (フードサービス事業)

好調なモスバーガー事業をより安定させるため、パートナーリーダーの育成に取り組まれました。新型コロナウイルス感染症への警戒は高いレベルで続いており、新たな生活様式に対応した事業運営が求められております。

この結果、売上高1,688,426千円（対前年同四半期比5.4%増）、セグメント利益（営業利益）102,029千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）11,095千円）となりました。

#### (地方創生事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のために前期休業していた施設のほか、前期中において営業を開始した施設が当期の売上高増加に寄与していますが、行政の要請に従い一部の施設は当期も休業期間がありました。

この結果、売上高227,500千円（対前年同四半期比58.3%増）、セグメント損失（営業損失）88,238千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）91,717千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて91,273千円減少し、2,393,573千円となりました。現金及び預金が144,928千円減少し、商品が51,879千円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて42,432千円増加し、2,550,446千円となりました。有形固定資産が59,795千円増加し、投資その他の資産が29,410千円減少したことが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて48,840千円減少し、4,944,019千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて8,240千円増加し、1,019,130千円となりました。1年内返済予定の長期借入金が20,400千円減少し、未払法人税等が20,092千円減少しましたが、短期借入金が100,000千円増加したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて270,997千円減少し、1,778,656千円となりました。金融機関からの借入金の返済が進んだ結果、長期借入金が269,181千円減少したことが主な要因です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて262,757千円減少し、2,797,786千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて213,917千円増加し、2,146,233千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2022年1月14日)公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。今後、新型コロナウイルス感染症の流行が収束し、経済活動が完全に正常化するには、まだ相当な時間がかかると予想しております。よって上記見通しについては、当第3四半期以降も店舗運営において不安定な状況が続くと仮定したものであり、感染症の拡大または収束の状況によって変動する可能性があります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,143,321	998,393
売掛金	134,606	144,307
商品	1,019,463	1,071,342
その他	189,179	181,190
貸倒引当金	△1,725	△1,661
流動資産合計	2,484,846	2,393,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	861,634	896,749
その他(純額)	396,201	420,882
有形固定資産合計	1,257,836	1,317,632
無形固定資産	12,872	24,920
投資その他の資産		
差入保証金	528,090	510,987
その他	719,842	702,543
貸倒引当金	△10,628	△5,637
投資その他の資産合計	1,237,304	1,207,893
固定資産合計	2,508,013	2,550,446
資産合計	4,992,860	4,944,019
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	94,474	96,569
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	382,170	361,770
未払法人税等	89,546	69,454
資産除去債務	9,487	9,653
その他	435,211	381,683
流動負債合計	1,010,889	1,019,130
固定負債		
長期借入金	1,408,542	1,139,361
退職給付に係る負債	13,517	16,412
役員退職慰労引当金	95,791	103,368
資産除去債務	424,225	424,239
その他	107,577	95,274
固定負債合計	2,049,653	1,778,656
負債合計	3,060,543	2,797,786
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,376,799	1,570,346
自己株式	△79,471	△79,471
株主資本合計	1,908,342	2,101,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,198	19,512
為替換算調整勘定	△8,383	△5,750
その他の包括利益累計額合計	7,814	13,761
非支配株主持分	16,158	30,581
純資産合計	1,932,316	2,146,233
負債純資産合計	4,992,860	4,944,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	6,125,584	6,495,388
売上原価	2,203,981	2,370,517
売上総利益	3,921,602	4,124,871
販売費及び一般管理費	3,848,012	3,872,273
営業利益	73,590	252,597
営業外収益		
不動産賃貸料	46,782	47,262
受取負担金	93,917	96,545
その他	29,155	87,459
営業外収益合計	169,855	231,266
営業外費用		
不動産賃貸原価	43,396	43,850
その他	17,286	15,035
営業外費用合計	60,683	58,885
経常利益	182,762	424,978
特別損失		
固定資産除却損	3,694	109
減損損失	—	10,579
店舗閉鎖損失	8,543	3,575
特別損失合計	12,237	14,264
税金等調整前四半期純利益	170,524	410,714
法人税、住民税及び事業税	48,599	109,252
法人税等調整額	16,693	10,755
法人税等合計	65,292	120,007
四半期純利益	105,231	290,706
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,988	14,422
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,242	276,283

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	105,231	290,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,396	3,314
為替換算調整勘定	△1,527	2,632
その他の包括利益合計	869	5,946
四半期包括利益	106,101	296,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,350	283,509
非支配株主に係る四半期包括利益	△249	13,143



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,380,078	1,601,827	143,679	6,125,584	—	6,125,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,380,078	1,601,827	143,679	6,125,584	—	6,125,584
セグメント利益又はセグメント損失(△)	478,336	△11,095	△91,717	375,523	△301,933	73,590

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,579,461	1,688,426	227,500	6,495,388	—	6,495,388
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,579,461	1,688,426	227,500	6,495,388	—	6,495,388
セグメント利益又はセグメント損失(△)	555,054	102,029	△88,238	568,845	△316,248	252,597

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フードサービス事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において10,579千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント名称の変更)

当第3四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、従来「その他」としておりました報告セグメントの名称を「地方創生事業」に変更しております。

当変更は、報告セグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の名称により記載しております。